

2年生 3学期保健 小テスト

- …… 観察
- …… 手当



- ・胸部や腹部の動きはあるか。
- ※ 1 ① の開始を遅らせないよう、確認に ② 秒以上かけない。
- ※ 2 しゃくり上げるような不規則な呼吸を ③ という。ふだん通りの呼吸が ④ かなど、分からぬときは、⑤ を開始する。



- リンク
- P.81~82 | 心肺蘇生の方法
- P.83 | AED(自動体外式除細動器)

*心肺蘇生法は、現在もより良い方法が研究されているため、改訂されることがある。

傷病者の発生

- ・周囲の①を確認して傷病者の近くに行く。



② をみる

- ・肩を軽くたたいて、大声で呼びかけてみる。

⑤ をみる

- ・大声で呼び、③を呼ぶ。
 - ・番通報をし、通信指令員の指導に従う。
 - ・を手配する。
- ほかに人がいたら、分担する。

ふだん通りの呼吸あり

様子を見ながら、
応援・救急隊を待つ。

呼吸なし または⑦

- 待つ間は、傷病者を⑥にする。
- 呼吸が認められなくなったら、直ちに⑦を開始する。



心肺蘇生 直ちに⑧を開始する。

強く 速く

絶え間なく

成人は約⑩cm、
小児は胸の厚さの
約⑪回/分
中断を最小限に
する。

人工呼吸の技術と意思があれば
気道を確保し、「胸骨圧迫⑫回+
人工呼吸⑬回」を繰り返す。

AEDの⑭を入れ、
音声メッセージに従う。

以下のいずれかに該当するまで、心肺蘇生とAEDを続ける。

- ・救急隊員に引き継ぐ。
- ・傷病者が呼吸や目的のあるしぐさを始める。

電気ショック⑮回、
その後、直ちに
から再開

必要
あり

必要
なし

直ちに⑯から再開

⑰
電気ショック
は必要か

はんそう
救急隊による搬送と応急処置

ちりょう
による治療